

# 安全管理システム



## 国際航空運送協会 (IATA) の航空運送標準評価制度「IOSA」認証

チェジュ航空の安全管理体制、今回は **3rd Edition** - 韓国初、手続きを強化した「IOSA」で無欠点の認証を取得

チェジュ航空は、就航3年目の2009年に全世界LCC(Low Cost Carrier:格安航空会社)の中で異例的にIATA(国際航空運送協会)の航空運送標準評価制度「IOSA(IATA Operation Safety Audit)」の認証を取得しました。2010年の下半期には新しく改定された「3rd Edition」を申請して「無欠点(Zero Finding)」で認証を通過しました。

「IOSA」は、2009年にIATAにより開発された航空会社の安全運航及び品質保証管理体制に関する評価システムで、安全管理、運航、整備、客室、運送、運航管理、航空保安などの8部門、約900項目に関して評価します。このうちたった1項目でも指摘事項(Finding)が発見されれば、それを補完するまで認証が保留になるほど、評価過程が厳格であることで知られています。

「IOSA」認証を取得した韓国内の航空会社は、チェジュ航空をはじめ、大韓航空、アジアナ航空、ジンエアの4社のみであり、このうち「3rd Edition」認証を取得した航空会社はチェジュ航空が初めてです

今回の「IOSA 3rd Edition」認証は、2年前に実施された「2nd Edition」より安全管理体制(Safety Management System)に関する評価が一段と強化されたのが特徴といえます。

即ち、チェジュ航空が今回認証を取得した「3rd Edition」は、国際航空運送の標準をつかさどるICAO(国際民間航空機構)が定めた規定に基づき、安全及び保安に関する危険要素を事前に把握して取り除くことができる内部監視システムに対する評価が強化されたわけです。

「3rd Edition」認証の手続きが一段と強化されたにもかかわらず、1件の指摘事項もなく、「無欠点(Zero Finding)」で認証を通過したということは、チェジュ航空が2006年の就航以来、持続的に投資して独自の築き上げてきた安全運航管理システムが、国際的に認められたということを意味します。



## チェジュ航空港の安全管理体制(Safety Management System)

### 飛行監視システムの運営

チェジュ航空は、飛行監視システムを設け、運航に関する資料を毎日収集して危険要因を細分化して分析し、これを基にしたパイロットの教育・訓練を実施して常に安全で安心飛行ができるよう、徹底した飛行監視システムを運営しています。

### 自体安全評価制度の運営

チェジュ航空では、国際民間航空機構「ICAO」の安全基準に基づいて訓練・育成された社内監督官を配属しています。そして、運航、整備、客室、運送などの安全に影響を与える全ての分野において監督官たちの監視及び予防的安全管理活動を積極的に実施しながら、安全評価システムを持続的に運営しています。

## 海外航空安全専門家による安全コンサルティングを実施

チェジュ航空は、海外航空安全専門家を迎えて航空の安全に関してより客観的に評価・改善しています。世界的に高く評価されている航空安全評価コンサルティング業者のC.H.S社及びABA社のCEOたちが定期的に訪問して安全評価を行い、同時に補修・補完しています。このようにチェジュ航空は国際的レベルの安全性を維持しています。

## 霧などの低視程時の運航能力を保有

チェジュ航空は、わずか300Mほどの視程しか確保できない気象悪化の状況でも安全確実に計器着陸を行うことができるCAT(Category)-IIに値するパイロットの資格と航空機の性能に対する認証をソウル地方航空庁から取得しました。従って気象の変化に伴う遅延や欠航率が低くなっています。